

## 11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

### [1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

#### (1) 個別事業等に関連した実践的・試行的な活動の内容・結果等

- ・金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業

地元権利者有志と金沢市による勉強会を重ね、平成25年に「金沢駅南地区共同化検討会」を設立し、再開発事業等のまちづくりの検討を進めた結果、第一種市街地再開発事業につながりました。

- ・中心市街地都市機能向上事業 まちなみ形成事業

本事業の方向性については、平成26～27年度にわたり、地元でのワークショップを実施し、住民と意見交換を行いながら決定したものです。

- ・金沢都心軸創生事業・片町地区再整備事業

平成27年度から実施した、都心軸の老朽建物の再生に向け、ビルオーナーとまちづくりの専門家を交え、事業化に向けた整備手法を提案する取組が事業化につながりました。

- ・近江町市場市民の利用促進事業

平成28年度「近江町市場市民 市民の利用促進支援事業」により、市民の利便性向上・利用促進に関する課題の整理や対応方針について検討した結果にもとづき実施する事業です。

### [2] 都市計画との調和等

#### [都市像 世界の「交流拠点都市金沢」(平成25年3月)]

コンパクトな都市機能の集積

○人口減少社会に対応した都市づくりを進めるため、原則的に、市街地の拡大を行わず、商業施設や公共施設等の立地を誘導するなど、主要な都市機能を都心部に緩やかに凝縮します。

○旧城下町区域の中心市街地は金沢らしさの象徴であり、都市全体の核となるエリアとして、歴史文化資産の保存、活用に努めるとともに、定住の促進や商業、業務機能の集約、交流人口の拡大、公共交通を優先した歩行者中心の交通政策を積極的に推進し、活力と賑わいのある中心市街地の形成に取り組みます。

○金沢駅周辺は重要交通結節点として位置付け、金沢の玄関口として整備するとともに、金沢駅から香林坊、片町に至る都心軸沿線にあっては、老朽ビルの建替を促進し、商業、業務機能など、近代的都市としての金沢の顔となる機能を集積します。

## [世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画（平成26年2月）]

### 主要施策

魅力づくり～個性を伸ばす～

- ・歴史文化資産の活用 ・MICEの促進 ・観光力の強化 など

まちづくり～都市機能を高める～

- ・品格あるまちづくりの推進 ・コンパクトな都市機能の集積
- ・情報インフラの整備・充実 ・交通ネットワークの確立 など

## [金沢市都市計画マスタープラン（平成21年10月作成）]

旧城下町区域を金沢の都市づくりを牽引する「芯」として位置付け、「にぎわい」、「ほんもの」、「みりょく」、「もてなし」を創造する。

都市づくりを牽引する金沢の「芯」づくりの基本方針

- ・コンパクトな都市づくりを推進するため、商業、業務機能の強化とあわせて、まちなか居住のさらなる促進を図ります。
- ・伝統環境と近代的都市環境の調和、さらには歴史性、文化性も加味しながら各種のまちづくり施策を総合的な観点で推進します。
- ・まちなかに集積する公共公益施設等の既存ストックを有効に活用しながら、快適なまちなか居住のさらなる向上を目指し、各種機能の充実を図ります。

## [3] その他の事項

### ○低炭素都市づくり行動計画

「基本方針3 公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り。人と環境にやさしい交通環境を築きます」において、公共交通の利便性向上、歩く人にやさしい環境の整備、快適な自転車利用環境の創出、マイカーから公共交通への利用転換の促進、まちなかへの過度なマイカー流入を抑制し、まちなか定住、就業促進に努める、といったことが施策となっており、本計画との連携が図られています。

### ○金沢市特例通訳案内士特区

金沢市は、平成28年1月に観光庁「観光立国ショーケース」の認定を受け、国の関係省庁の集中支援のもと官民一体となり、地域経済の活性化に資するインバウンドの増加に向けて取り組んでおり、平成28年6月に「金沢市特例通訳案内士特区」の認定を受けました。

このことにより、多様化する通訳観光案内のニーズに柔軟かつ幅広に対応できるようになり、市内の主要観光地が集積する中心市街地を実施する、賑わい創出のための各種事業との相乗効果によるインバウンドの増加、中心市街地における経済の活性化を図ります。